

# 日本經濟新聞

7月18日

木曜日

発行所 日本経済新聞社  
 東京本社 (03)3270-0251  
 〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7  
 大阪本社 (06)6943-7111  
 名古屋支社 (052)243-3311  
 西部支社 (092)473-3300  
 札幌支社 (011)281-3211

## 日本エコサポーター

# ボイラー 燃焼を効率化

## システム開発 コメ乾燥、2割省エネ

環境事業を手掛けける日本エコサポーター（青森県むつ市、鹿内靖社長）は、空気中の水蒸気が水滴になるのを防いでボイラなどの燃焼効率を高め、燃料を節約する省エネシステムを開発した。今秋に宮城県内のカントリー・エレベーターを使つたコメ乾燥の実証実験を行う。実験を足がかりに、広く農業従事者や流通業者に導入してもうよろづPRする方針だ。

空気中の水蒸気は温められると水滴化する特性がある。ものを燃やすために使われる「燃焼空気」

は、燃焼に伴う高温で水滴ができるやすく、これが石油やガスなどを燃やす際に燃焼効率を悪くする原因になっている。

同社が岩手県の農家のコメ乾燥機でコメ550kgを乾燥させたところ、同社のシステムを乾燥機

リードでは自動車を使った燃料効率向上の実験を行つてている。

トリーエレベーターでは

取り入れ口や通気管に取

り付け、遠赤外線効果な

どを利用して水滴化を防

ぐ仕組みだ。

同社は国内特許と海外特許を申請中で、ハンガリードでは自動車を使った

燃料効率向上の実験を行つてている。

トリーエレベーターでは

燃焼に灯油を使うため、

温風の中に硫黄成分の臭

いが残る。新システムで

は6時間半で19%程度まで乾燥できた。燃料（灯油）消費量は40㍑から32㍑に減り、20%の省エネ

率を実現した。

トリーエレベーターでは

燃焼に灯油を使うため、

温風の中に硫黄成分の臭

いが残る。新システムで

は6時間半で19%程度まで乾燥できた。燃料（灯油）消費量は40㍑から32㍑に減り、20%の省エネ

率を実現した。

トリーエレベーターでは

燃焼に灯油を使うため、

温風の中に硫黄成分の臭

いが残る。新システムで

は6時間半で19%程度まで乾燥できた。燃料（灯油）消費量は40㍑から32 Litecoinに減り、20%の省エネ

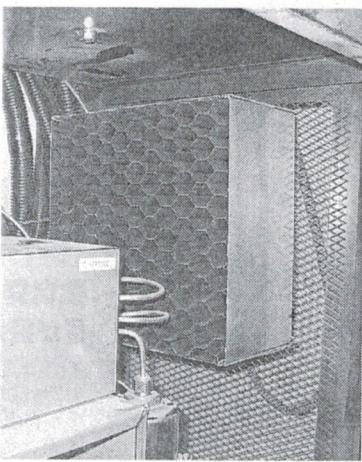
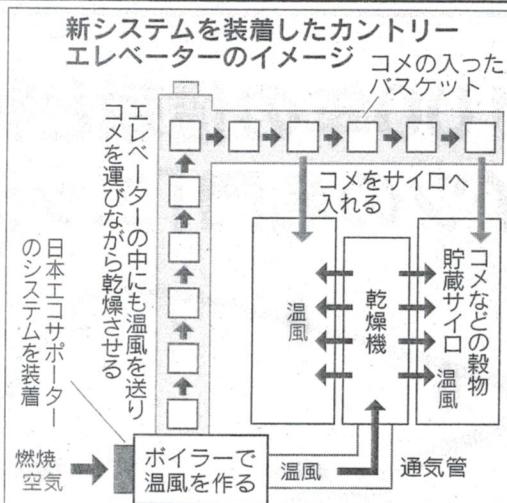
率を実現した。

トリーエレベーターでは

燃焼に灯油を使うため、

温風の中に硫黄成分の臭

いが残る。新システムで



空気の通り道にシステムを取り付けて燃焼効率を上げる

日本エコサポーター  
のシステムを装着

燃焼  
空気

エレベーターの中にも温風を送り  
コメを運びながら乾燥させる

ボイラーで温風を作る

新システムを装着したカントリー  
エレベーターのイメージ

コメの入った  
バスケット

エレベーターの  
コメをサイロへ  
入れる

貯蔵サイロ

乾燥機

温風

通気管

温風

温風